

東海道五十三次 27 番目の宿場



2026(令和8)年7月17日

袋井市長定例記者会見資料

スポーツ文化観光部 文化観光交流課

～貴重な文化・芸術としての保存・活用のために～

愛野公園の壁画「トの花」の原案となった書を寄贈していただきます

◇このたび、袋井市の貴重な文化・芸術として保存・活用していただきたいとの思いから、NPO法人環境芸術ネットワークの理事長であり、美術評論家連盟(AICA JAPAN)の会員である本阿弥 清(ほんなみ きよし)様(※)の収蔵コレクションを寄贈していただくことになりました。〈※「本阿弥 清」は筆名であり、本名は本波 潔〉

◇本阿弥様は、これまでに静岡県立美術館や山梨県立美術館などに自身が所有する美術コレクションを寄贈しており、今回は本市愛野公園にある壁画「トの花」の原案となった本市在住の現代書家・大杉 弘子(おおすぎ ひろこ)様の「書」の原書を寄贈していただきます。

◇本阿弥様は、1990年代に仕事で愛野公園の実施設計に携わる中で大杉様との交流が生まれ、愛野公園にアートワーク(美術を活かした公園づくり)を取り入れるため、公園内に「書」を取り入れた壁画等を制作されました。

今回寄贈していただく作品は、その壁画の原案となった大杉様の「書」であり、本阿弥様が当時私費で購入し、これまで所有されてきたものです。

【概要】

1. 寄贈者：本阿弥 清(ほんなみ きよし)様〈本名:本波 潔〉
NPO法人環境芸術ネットワーク理事長、美術評論家連盟(AICA JAPAN)会員
2. 同席者：現代書家 大杉 弘子(おおすぎ ひろこ)様
3. 寄贈品：愛野公園の壁画「トの花」の原案となった「書」(大杉弘子様作品)

《寄贈品:原案となった「書」》



《愛野公園の壁画「トの花」》

